

「安全に避難しよう」(10 分)

対象／小学生

1. プログラムの趣旨

東日本大震災では、子どもや老人だけでなく様々な世代の人々が亡くなっている。
写真で被害の様子を知り、自分の地域でも同じようなことが起こりうることを感じて、
自分たちはどのような備えができるか必要感をもって考えさせる。

2. ねらい

地震や津波等の自然災害により避難しなければならない時、どのように避難したらよ
いか考える。

3. 展開

段階	学 習 内 容	教師の支援・指導上の留意点
導入 (2分)	①11日は、東日本大震災で亡くなった 方々の月命日であることを伝える。	・平成23年3月11日の東日本大震災で は、子どもや老人、体の不自由な人だけで なくたくさんの方が亡くなったことを伝 え、自分の身にもいつ起こるか分からない ことから、備える必要があることを意識さ せる。
導入 (6分)	②写真を見て、自然災害によって建物や道 路がどのような状態になるか話し合う。 ③自分の学区で起こると考えられる危険を 予想し、どのように避難したらよいか話 し合う。	・道路の陥没や建物の崩壊、落下、火災の凄 まじさを理解できるようにする。また、ど うしてこの状態が危険なのか、今後どのよ うな危険が考えられるか話し合う。 ・自分の学区での危険な建物や安全な所はど こか考えさせる。また、安全な所まで、ど のように避難することが必要か考えさせ る。
まとめ (2分)	④マップづくりや避難訓練等これから必要 な活動を考える。	・身を守るための備えをする必要性を感じ、 自主的な活動を考えることができるように する。







